

1. 事業の位置付け

事務事業名	防犯街路灯照度アップ事業		
事業担当	市民部 くらし安全課		
予算科目	01-020109-010000	事業種類	● ハード ○ ソフト
総合計画の位置付け	02	基本目標2 子育て、長寿を楽しみ、安心していきいきと暮らせるまち	
	03	③〈健康・安心・福祉力〉その人らしく安心できる生活を支援する	
	02	2 多様な地域課題に的確かつ総合的に対応する地域密着のサービスを充実する	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	平成17年度～平成22年度
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： <input type="checkbox"/> 自治会】		
目的・目標		事業の概要	
防犯街路灯の照度アップにより、犯罪抑止効果が高まっています。		地域における犯罪を未然に防止するため、従来の20Wの蛍光灯防犯街路灯を80Wの水銀灯に交換し、犯罪の起きにくい環境をつくります。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	交換灯数						単位	灯
	説明・算定式	20Wの蛍光灯から80Wの水銀灯に交換した灯数							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			800	500	500			
活動指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績								
成果指標①	指標名	窃盗犯認知件数						単位	件
	説明・算定式	-							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			3,700	3,500	3,300			
成果指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績								
進捗状況	①：予定どおり								
	遅れている理由								
平成19年度の主な取組と成果									
既存の防犯街路灯では暗く危険と思われる箇所を自治会と協働しながら防犯街路灯照度アップ箇所として選定し、市内全域で800灯の交換を実施し、犯罪の起きにくい環境をつくった。									
平成19年度の検証結果	A：成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	犯罪を未然に防止し、安心安全まちづくりを推進していくうえで、防犯施設の整備は必要不可欠である。また、自治会等からの電話等による意見からも、本事業に対する関心やニーズは高いものとする。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	窃盗犯認知件数も減少傾向にあり、防犯効果は大きい。また、地域内の照度が向上することで、市民のくらしにおける安心感にもつながっている。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	受益者は全市民であり、犯罪抑止についても明確な効果もでていることから妥当性は大きい。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	水銀灯は消費電力が大きく、電気料負担が増加していることからコスト削減の工夫が必要である。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低

今後に向けた課題の分析

既設の80W水銀灯は明るく防犯効果も高いが、消費電力や環境負荷が大きいことから使用器具の変更が必要である。自治会管理防犯灯の照度アップを推進するため補助制度を新設する必要がある。設置場所の選定にあたっては、地域との連携のもと、防犯上効果的な場所を選定する必要がある。

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成17年度 決算額	平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 予算額	平成21年度 計画額	平成22年度 計画額	平成23年度 計画額
事業内容				防犯街路灯の交換	防犯街路灯の交換	防犯街路灯の交換		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	30,240	10,000	20,500	0	0
事業費(A)		0	0	30,240	10,000	20,500	0	0
執行率(%)		0.00	0.00	92.20				
内訳	職員(人)	0.00	0.00	0.50	0.50	0.50	0.00	0.00
	再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費(B)		0	0	4,196	4,196	4,196	0	0
フルコスト(A+B)		0	0	34,436	14,196	24,696	0	0

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成21年度の事業の方向性	
<input type="radio"/> 現状の規模で継続 <input checked="" type="radio"/> 拡大して継続 <input type="radio"/> 縮小して継続 <input type="radio"/> 廃止 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 他事業と統合	
<判断理由> 第1次実施計画で計画した1,800灯は3年間で実施することとし、平成20年度は事業の見直しを行った関係で、当初計画より縮小したため、平成21年度は750灯の照度アップを実施していく。	
平成21年度の実行方針	
平成20年度に使用器具の変更など大きな見直しを行ったことから、その効果について検討する必要がある。また、各連合自治会から提出予定のアンケート結果に基づき、より効果的な灯数配分を行っていくとともに、今後の事業のあり方について検討する。	
課長コメント	照度アップ事業については、地域から多くの要望が出されている。平成20年度実施のアンケート調査の結果を分析し、より効果的・効率的な(地域性への配慮・犯罪増加地域・省エネ器具の採用等)設置を進めていきたい。